

総合科目III 科目群E

整理番号	科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
Ⅲ-15	1E02031	比較文化の探求—名著のすすめ—	1	1.0	3・4	春AB	月2	2B507	中田 元子	人文・文化研究において、文献との出会いは重要である。感銘を受け、学問的に刺激された文献は、研究上のみならず、その人の生き方にも影響を与えることがある。本講義では、グローバル時代において比較文化を探究する教員が自ら選んだ、学生必読の文献を紹介しつつ、高度かつ専門的な視野から文化を読み解く方法を考えていく。	(比文開設) 【受入上限数120名】
Ⅲ-16	1E03011	日本とは何かIII	1	1.0	3・4	春AB	月2	2C107	松崎 寛	「日本とは何かIII」では、現代の私たちが自明のものとしている「日本語」「日本文化」の概念に、近年の研究動向を踏まえつつ再検討を加えることで、「日本とは何か」を考えていく。	(平日開設) 日本語・日本文化学類学生の履修を認めない。 【受入上限数120名】
Ⅲ-17	1E25021	スポーツ芸術表現学	1	1.0	3・4	春AB	木6	5C317	太田 圭, 嵯峨 寿, 田中 佐代子, 大原 央聡, 田島 直樹, 山本 美希	「スポーツ芸術」とは「スポーツをテーマとした芸術作品」のことで、本授業では、これらを「創る」「観る」「支える」という3つの立場から捉える。オリンピックの芸術競技をはじめとした美術史におけるスポーツ芸術、2020年東京オリンピック・パラリンピックの「文化プログラム」、現代におけるスポーツとデザインの関わり等を、アーティスト・デザイナー・漫画家等の多様な視点から学び、新しいスポーツ芸術の表現について考える。	(芸術開設) 4/13-6/22 【受入上限数120名】
Ⅲ-18	1E25011	社会のなかの建築デザイン	1	1.0	3・4	秋A	火1,2	5C302	貝島 桃代, 加藤 研	デザインに何が出来るのか? 社会との関わりについて、建築デザインの観点から、デザインの可能性を探る。	(芸術開設) 平成28年度までの「社会のなかのデザイン」を修得済みの学生は履修できません 【受入上限数120名】
Ⅲ-19	1E04011	国際社会における戦争と平和	1	1.0	3・4	秋AB	月1	1C210	明石 純一	本授業では、国際社会における戦争・紛争発生メカニズムや、平和実現・安全保障の条件を考察する。戦争と平和に関する具体的諸問題、例えば、9.11後のテロや「対テロ戦争」、国境・地域紛争、日本近隣でも増す軍事的緊張といった題材の多角的検討を通じて、現代の国際社会についての理解を深める。	(社会開設) 西暦奇数年度開講。 【受入上限数120名】
Ⅲ-20	1E02011	変動する地域を捉える	1	1.0	3・4	秋AB	月2	2B309	塩谷 哲史	いつの時代・社会においても、人々の生活はそれぞれの地域のなかで、その地域をとりまく環境とのかかわりのなかで営まれてきた。しかし現代、政治や経済、あるいは文化の枠組みは大きく変動しつつある。そのような状況においては、地域というものが固定的に捉えるのではなく、問題に応じた時間的・空間的広がりを設定し、そのなかでそれぞれの営みを追いかけていく必要があるだろう。本講義では、主に日本とアジアを中心とする具体的な事例をもとにしつつ、変わりつつある地域を捉えるための地理学・民俗学・文化人類学・歴史学からの捉え方を紹介し、現代社会に対する学際的な理解を深める。	(比文開設) 西暦奇数年度開講。 【受講制限数120名】
Ⅲ-21	1E06011	学校を考えるIII	1	1.0	3・4	秋AB	月2	2C404	佐藤 博志, 岡本 智周	教育に関する言説が社会に流布している。その中でも、ゆとり概念に着目し、言説を批判的に検討する。今日の教育改革の動向を検討し、ゆとり批判の様々な影響についても考察する。PISA2015の結果を含めて国際比較の視点も組み込みつつ、グローバルに日本の教育改革を検討する。最終的には、教育と世代論に関する見方の視野を広げることを意図している。受講生がこれまでの大学生活で培ってきた知識、能力、経験を活用しつつ、自らが社会人になった時の立場も仮定することによって、言説と教育の問題を解き明かし、高度な教養の習得を目指す。	(教育開設) 人間学群学生の受講は認めない。講義の一部にディスカッションを取り入れるため、受入れ上限数を80名とする。 平成28年度と平成27年度に科目番号1B06031「学校を考えるIII」(総合科目II)の単位を修得した学生は、この授業の履修を認めない。
Ⅲ-22	1E01011	言語と社会	1	1.0	3・4	秋C	月1,2	1C210	臼山 利信	我々は言語によって世界を捉え、思いを表現しながら社会生活を営んでいる。言語と社会の関係に関わるさまざまな側面について、特に教育・文化・情報等の学際的な視点から考察する。	(人文開設) 西暦奇数年度開講。 【受入上限数120名】
Ⅲ-23	1E17011	経済学入門III	1	1.0	3・4	秋C	火3,4	3A306	佐野 幸恵, 秋山 英三	ミクロとマクロをつなぐ統計物理学を背景に、近年発展してきた「社会経済物理」について、その歴史的な流れから最先端の話題まで紹介します。	(理工開設) 【受入上限数120名】
Ⅲ-24	1E01034	現代社会の哲学的考察	4	1.0	3・4	秋C	水1,2	1C210	檜垣 良成	現代社会の諸問題を哲学的視点から徹底的に掘り下げる。	(人文開設) 西暦奇数年度開講。 【受入上限数80名】

※教室は、受講調整の結果等により変更の可能性があります。  
変更のあった教室は掲示により周知しますので、必ず各支援室掲示板を確認してください。